



広げよう！つなげよう！

地域支え合い活動紹介②⑩

王滝村では、社協でメニュー登録され活動しているボランティアさんはもちろん、地域のために自主的な支え合い活動を行っている方も大勢いらっしゃいます。地域の方々の活動の中から一部をご紹介します。

☆地域の支え合い活動

上条地区いきいきサロン（1/14）

上条地区いきいきサロンは、上条区にお住いの地域支え合い推進委員さんが声をかけ、地区の方々のために自発的に企画した新しい地区サロンです。

初めての今回は、「たのしい冬のおはなし会」をテーマに、松本おはなしの会の増本加代さんをお招きし、冬にちなんだわらべうたや王滝村の昔話「弘法菜」などの朗読を始め、大きな絵本の読み聞かせや、歌に合わせてみんなでお手玉で遊んだり、盛りだくさんの内容となりました。

子どもから大人まで様々な年代の方が参加し、みんなで楽しみながら交流できた上条区のサロン。地区の方々の居場所やふれあいの場として、これからの活動がたのしみですね。



☆登録ボランティア

食の会 ～ひとり暮らしようまい会で 昼食作り（1/18）

王滝食の会では、地域での食に関するイベントへの協力や、若い世代への郷土食の伝承活動を行っています。

今回は、1月に開催したひとり暮らしの方々の交流事業にご協力いただきました。巻き寿司や、寒い冬にうれしい「とうじそば」など美味しい料理をたくさん作っていただき、参加された皆さんもとても喜んでくださいました。いつもご協力ありがとうございます。



「会食会」のボランティアさん 募集中！

社協では、75歳以上のみなさんをお招きし、お食事や演芸、レクリエーションを楽しんでいただく“会食会”を開催しており、今年度も参加されるみなさんのためにお弁当をご用意する予定です。そこで、

**お弁当づくりなどでお手伝いしていただける
ボランティアさんを募集しています。**

- ◆ 開催日時：2月17日（土） 午前10時30分～
- ◆ 場 所：保健福祉センター

お手伝いいただける方は、お手数ですが2月13日（火）までに社協までご連絡ください。

社協：※※48-2008（担当：栗原）

県内の活動紹介

農閑期の創作活動 『わら細工サークル』（松本市）

松本市入山辺地区の住民たちは、毎年1月から3月までの農閑期に、わら細工サークルとして地元産の稲わらを使って、動物や猫つぐら、そうりなどを作る活動をしています。

主な会員は70代～80代の男性3人で、自分で育てた米のわらの他に、近所の方や農業体験事業などを行っている有志団体に提供してもらったわらを材料に使っています。

活動は週1回、入山辺地区福祉ひろばにて、わら細工を習いたいという希望者を歓迎して手ほどきしていて、今月開催されたそうりの講習では、若い参加者も楽しみながら意欲的に学んでいました。

わら細工をつくりながら会員たちが子供の頃の思い出話を始め、「父親が作ってくれたそうりを学校の上履きに使っていた」、「みのが雨がっぱの代わりだった」と懐かしんでいました。「今は文明の利器があるけれど、昔はわらを生活のいろいろなことに利用していた」という当時の人たちの知恵に、参加者も感心していました。この活動を通して、昔の思い出と共にわら細工が次の世代に受け継がれています。

（市民タイムス「わがまちSDGs」2024.1.26より）



会員たちが作ったわら細工